2022年1月9日(2週目) 主日礼拝

「キリストに忠誠する弟子とレムナント」(Ⅱテモテ 2:1-7)

ローマ皇帝のネロが、精神的におかしくなり、ローマの町に火をつけた。その汚名をクリスチャンたちにかけて殺そうとした。その中で、パウロ自身も殺されることを分かっていた。パウロはまもなく死刑となることを分かり、テモテ人への手紙を書いた。その内容は、遺言的な内容となっている。その為、重要な内容が含まれている。

テモテ人への手紙は、福音のために弱くならず強くなって、福音のために苦難を受けなさいという内容である。私たちは弱くならず、キリストのために忠誠を出来るように。
 ▲創世記 3:15 に契約が書かれてあるが、キリストとサタンの中に戦いがあることを言っている。悪魔のしもべ(天理教、創価学会、統一教会 等)たちはサタンに命をかけて忠誠をしている。悪魔の宗教は、命がけで忠誠をするが、教会に通うクリスチャン達に忠誠心がない。なぜなら、霊的な力がないからである。聖徒と弟子は違う。弟子は、苦難を受けることもいとわない者である。神様はこの全宇宙をことばで造られた。全ては、人間のために造られた。しかし、神様にとって大切であった、人間が墮落をしてしまった。人間を救うために、神御自身が御子として来られた。新約時代は、神の国を造ることが目的である。私達の教会が、世界宣教をする教会となる事が出来るように。

1.福音のための苦しみ	2.御座の祝福	3.弟子とレムナントの再生産
<p>▲神の民は、福音のために苦難を受けることが出来る人である。このことが神様の目的である。福音のために私は、苦難を受けることが出来るように。</p> <p>1)マタイ 16:16(「あなたは、生ける神の御子キリストです。」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創世記 3章の事件から、サタンの奴隷となり罪、死の中で生きようになる。 ・6つの未信者の問題の中で滅びようになった(子ども達の精神問題等)。 ・問題を解決するためにキリストが十字架にかけられて、3日目に復活された—キリストが十字架にかけられて、全ての問題を解決した。 <p>○マタイ 16:24(「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弟子になる者は、自分の十字架を背負いキリストについていく。 ・弟子を中心に世界福音化をすることが出来るようになった。 <p>2)Ⅱテモテ 1:7-8(神が私たちに与えてくださったものは、おくびよりの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々は、風習や迷信を恐れさせる臆病の霊(悪霊)に騙されている。 <p>—臆病の霊から人々を解放するのが福音である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖霊は臆病の霊ではなく、力の霊である。 —自分の弱さ、苦難があっても、福音のために受ける苦難はかまわない。 <p>3)Ⅱテモテ 1:12(私はこのような苦しみにも会っています。しかし、私はそれを恥とは思いません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリストは、奴隷のように十字架の刑罰の苦しみを受け死なれた。 ・同じように、キリストを信じる私達は、苦しみを受けることは当然である。 ・天においても地においても力ある主が、私達を最後まで責任を持って下さる ・使命の為に生きるのであれば、問題は何も問題ではない—私は、恐れない <p>○Ⅱテモ 2:3-4、Ⅱテモ 2:5、Ⅱテモ 2:9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリストのために苦難を受けることを進んでするようになる。 ・No cross, no crown ⇒苦難をなくして栄冠を得ることはできない。 <p>※使徒ヨハネの弟子である教父のポリュカルポスは、86歳の時にキリストを信仰することで、逮捕される。裁判官は、「イエスを信じないと言えれば釈放する」と言った。しかし、ポリュカルポスは、「86年間の間、イエス様は、一度も自分を否定しなかった。だから、私はキリストを知らないと言えない。」と告白をして殉教した。—キリストを良く信じ、力の霊で体験があったから告白できた</p>	<p>▲福音の為に苦勞をすることが出来るのは、神様の力である。</p> <p>1)Ⅱテモテ 1:14(あなたにゆだねられた良いものを、私たちのうちに宿る聖霊によって、守りなさい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の内に宿っているものが聖霊様である。 ・聖霊の恵みによって、私は強くなる。 <p>2)Ⅱテモテ 2:1(そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三位一体の神様によって強くなりなさい。 ・強くなれば苦難は、苦難でない。 ・恐れ、心配を持つ必要はない。 ・朝の時間に聖霊の満たしと5つの力を受ける ・私達は、キリストにあってこそ勝利出来る。 <p>3)使徒 1:8(聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖霊が臨まれる時に力を受ける。 ・私が弱いと何でも問題となる。 ・信仰の強い人にとっては、問題は祝福であり、伝道のチャンスとなる。 ・恐れずに、進むと悪魔の国を征服出来る。 ・礼拝を持続してこそ強くなるようになる。 <p>※AD30年~200年の頃に20万人くらいしかいなかった。しかし、AD200年~300年の頃にローマ帝国に疫病がはやり、10%のクリスチャンの人口となっていった。苦難・問題が来た時にこそ、多くの伝道の働きがなっていた。</p>	<p>▲弟子とレムナントを再生産することが目的である。レムナントを立てる目的も強い弟子としてたてるように。</p> <p>1)Ⅱテモ 2:2(多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神様は私がイエス様のために命を懸ける程の弟子になることを願っている。 <p>○ヘブル 3:2(モーセが神の家全体のために忠実であったのと同様に、イエスはご自分を立てた方に対して忠実なのです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力があれば、私の周りの人たちを弟子にすることが出来る。 ・モーセは、忠実で弟子のモデルである。 <p>—ヨシュアとカレブも弟子となった。</p> <p>○マタイ 28:19-20(それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。)</p> <p>▲結論</p> <p>1)Ⅱテモテ 4:5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福音を伝える為に困難に耐えようとする時に全てのもを与えて下さる。 <p>2)詩篇 91:6-7(暗やみに歩き回る疫病も、真昼に荒らす滅びをも。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私達が、疫病にかかることもない。 ・主により頼むものは、全て守られる。 <p>3)詩篇 91:13(あなたは、獅子とコブラとを踏みつけ若獅子と蛇とを踏みじろう。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗闇が打ち砕かれる。 ・主の忠実な者となるように。

現場地教会(2022年1月9日～2022年1月15日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「キリストに忠誠する弟子とレムナント」(Ⅱテモテ 2:1-7)

【讚美】 400 十字架の旗、主の真理

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。
- ②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
 - ③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。アーメン

福音宣教教会 祈り題	1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) 3. レムナント(イザヤ 6:13) 4. 癒し(使徒 19:8-20) 5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 6. 200 都市(創世記 41:36-38) 7. 1000 大学(使徒 19:9-10) 8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10) 12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	
お知らせ	○主任牧師宣教学講義 11日(火曜日)9:30~17:30 24日(月曜日)14:00~18:30 25日(火曜日)9:30~17:30
<h2>福音宣教教会</h2> <p>主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00</p>	